

花粉の少ないスギ品種の生産 状況と供給拡大に向けた取組

1 はじめに

県では、スギの花粉症対策として、花粉の少ないスギ品種を選抜し、さし木苗として供給するため、採穂園の整備を行ってきました。

今回は花粉の少ないスギ品種の生産状況と、より成長の優れた新しい品種の開発など近年の取組についてお知らせします。

2 花粉の少ないスギ品種の生産に向けた採穂園の整備

これまでに岩手県と隣県の青森、秋田、宮城各県で選抜された花粉の少ないスギは17品種あります（表1）。これらの品種をさし木苗として供給するには、採穂園を整備する必要があります。

採穂園とは、良質のさし穂を容易に大量に採るために、同一品種を列状に植栽し、樹高を1mほどの高さに剪定し、さし穂を取りやすくするとともに、太く真直ぐな枝をたくさん伸ばし、さし穂を効率的に量産で

きるように管理する圃場です（写真1）。

平成15年度から平成25年度末までに、花粉の少ないスギ品種を採穂園に植栽した累積本数を図1にまとめました。初めに岩手県選抜の岩手県11号と水沢6号について重点的に整備し、その後、青森県選抜の品種、秋田県選抜の品種を整備してきました。採穂園を整備してきた他県の品種は、独立行政法人森林総合研究所林木育種センター東北育種場から配付されたものを、毎年、着実に整備してきたものです。これまでに整備した採穂木が成熟してきたことから、近年はさし穂が安定的に確保できるようになってきました（図2）。

3 花粉の少ないスギ苗木の生産状況

国では、花粉症対策の取組として、大都市周辺で集中的に花粉の少ないスギ苗木の普及に努めており、平成29年までに全国で1千万本供給することを目標にさまざまな対策を講じ

表1 岩手県と隣県の花粉の少ないスギ品種の選抜状況

NO.	選抜地域	精英樹名
1	青森県	南津軽 5
2	青森県	増川 6
3	青森県	碓ヶ関 7
4	青森県	黒石 5
5	青森県	黒石 6
6	岩手県	岩手県 11
7	岩手県	水沢 6
8	宮城県	玉造 8
9	宮城県	宮城 3
10	宮城県	刈田 1
11	秋田県	上小阿仁 107
12	秋田県	秋田 103
13	秋田県	北秋田 1
14	秋田県	由利 11
15	秋田県	仙北 1
16	秋田県	雄勝 3
17	秋田県	雄勝 13



写真1 採穂園

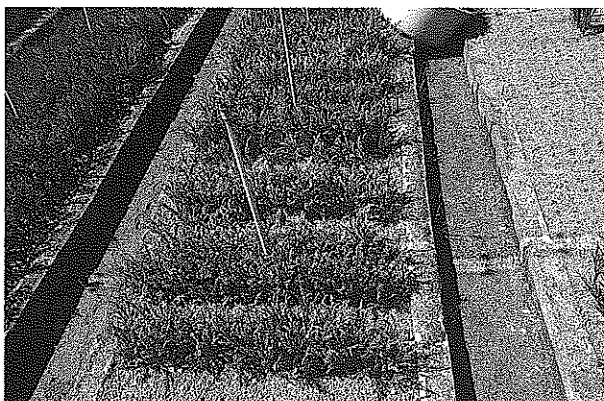


写真2 さし穂の苗床

ています。花粉症対策は国民全体が注目している課題であり、岩手県でも花粉の少ないスギ苗木を植栽していくことが求められています。

こうした中で、県では、採穂園から採取したさし穂を、苗床にさし付けし（写真2）、発根したさし穂を苗木生産者に提供して、さし木苗を

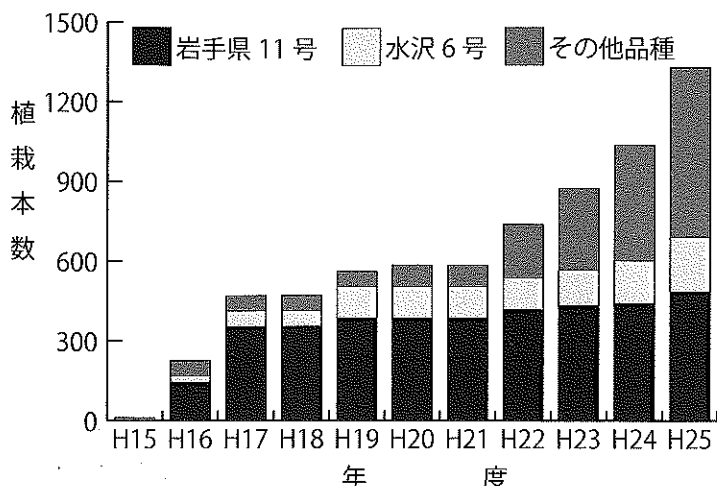


図1 平成15年度以降の花粉の少ないスギの採穂園への累積植栽本数

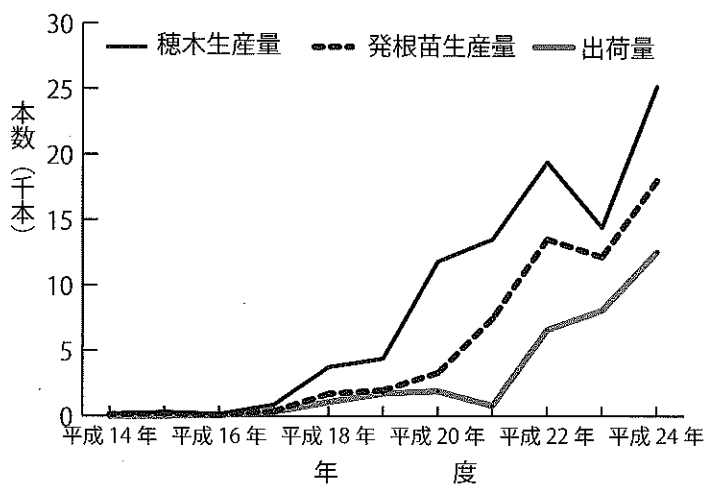


図2 穂木の採取量、発根苗生産量と出荷量の推移

注) 図の年度は穂木の生産年で示している。そのため、平成24年度に示す発根苗生産量は平成25年度の量、出荷量は平成26年度の量になる。

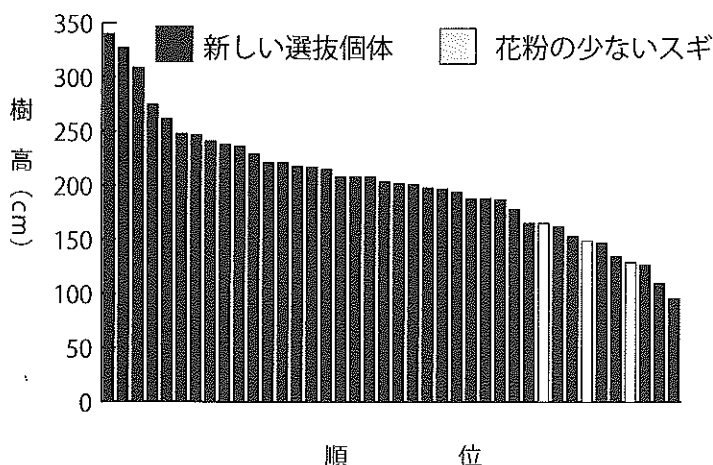


図3 試植地での植栽後4年目の樹高成長量

生産供給しています。平成20年度には、花粉の少ないスギ品種の採穂量が1万本を超えるようになり、平成25年度のさし木苗生産本数は1万7千本以上となっています。

4 花粉の少ないスギ苗木の供給拡大に向けて
花粉の少ないスギ苗木の供給量を更に増やしていくため、採種園を造成し、実生苗を供給する方法もあります。

実生苗は、交配により花粉が少ない形質がどれだけ引き継がれるか明らかになっていないものの、花粉生産量の削減には有効と考えられます。

このことから、花粉が少ない上に、成長が良いスギ苗木の供給を目指して、新品種の開発に取り組んでいます。人工交配したスギの苗木に、着花を促進する薬剤を散布しても着花しない個体を、これまでおよそ百個体選抜してきました。

この選抜した個体から、さし木苗を育成し、林業技術センター隣接地で生長試験を実施しています。植栽後4年目の樹高を図3に示しましたが、従来からの花粉の少ないスギ品種に比べ、2倍以上の樹高を示しているものもあります。

今後、実生苗と同等以上の生長結果が得られた際には、新しい品種として供給していくことを考えています。

引き続き、花粉が少なく、本県に

岩手県林業技術センター研究部
上席専門研究員 蓬田 英俊

適したスギ品種を普及定着していくため、初期生長の良さが備わった優れた品種の開発に取り組んでいきます。